



2023(令和5)年12月21日

福山市立日吉台小学校

5年学年通信 No.25

## 自分との勝負!

12月8日(金)にトリムマラソンをしました。自分が約1.1kmの道のりを同じペースで走り続けるには、どのくらいのタイムで走るか目標を立て取り組みました。今年から、「自分との勝負!」「順位ではなく、タイム!」を意識して、練習してきました。朝から緊張しているようでしたが、走り始めると練習の時と同じように、一生懸命走りました。たくさんのご声援ありがとうございました。

悔しかったマラソン

三吉 龍瞳

「用意、ドン。」  
マラソンがスタートした。今まで頑張ってきたことを出し切って走る。風邪で休んだこともあり、七周走るのは久しぶりで、少し緊張していた。一周目を走り切った時、咳が出そうになった。「やばい。」と思ったけれど、そのまま走った。四周目が終わった時に、喉がひびく感じがして唾を呑み込もうとすると、咳が出るようになった。そして、最後の七周目。残りの力をすべて出し切るように走った。  
目標タイムは、五分十秒。結果は、五分。ニアピン賞だ。目標タイムを十秒速くすれば、ピタリ賞だったので、悔しくてたまらなかった。でも、一生懸命走れたのでよかった。初めてしたトリムマラソンで良い成績を出せた。六年生になっても頑張る。

目標タイムへ

藤永 來未

笛の音が鳴り、五年生のマラソンがスタートした。今日は、トリムマラソンの本番だ。私は、大休憩に三年生のマラソンを教室で見学した。みんなとても速かった。三年生を見て、頑張ろうという気持ちが強くなった。  
五年生のマラソンの時間になった。大勢の人がいて緊張した。私は、前半グループで走った。みんなとても速いけれど、いつも通り走った。  
マラソンで走り切った後、カードを配られた。そこには「3」と書いてあった。うれしかったけれど、今回のマラソンは、目標タイムとの戦いだからすぐにタイムを聞きたかった。私の目標タイムは、五分二十秒だった。本番のタイムは、五分五秒で十五秒も離れていた。ニアピン賞は取れなかった。でも、とても良いタイムだったので、六年生でもそのタイムを継続していきたい。

おしい!ピタリ賞

水成 真翔

今年のマラソン大会は、去年とは違い、自分の目標タイムに近づけることを目的にしたものだった。僕の目標タイムは、練習の最高タイムの十秒速い四分三十五秒だった。練習の時も、かなりしんどかった。そのタイムに近づけることが出来るかわからなかった。  
「用意、ピツ。」  
一回のフライングを挟んで、二回目のスタートだった。その日は、いつも僕と同じタイムくらいの友達か休みだったので、ペースが分からず、一周目は、  
「いつもよりペースが遅いよ。」  
と先生に言われた。しかし、だんだん自分のペースが分かってきて、安定して走れるようになってきた。最後の方は、とてもしんどかったが、無事にゴールすることが出来た。  
僕は、結果を楽しみながら教室に入った。すると、ニアピン賞だと分かった。目標のピタリ賞は逃したが、とてもうれしかった。  
僕は、今回のトリムマラソンで、自分のペースで走ることができ、ニアピン賞をとれた。その経験を活かし、生活の中で人に合わせてすることは大切だが、自分のペースで進んでいくことも大切だと思った。だから、今はどちらを大切にする時かを考えながら、過ごしていきたい。